

森林インストラクター資格取得支援講座

安全及び教育

2018年6月10日(日) 雨 八王子市 長池公園

森林インストラクター資格取得支援講座6日目「安全及び教育」を長池公園で実施しました。

公園での自然観察会の下見を想定して『危険な物を探す』をテーマに自然観察しながら危険な物（植物、昆虫や動物、気候や地形、他）を色々探しました。雨に濡れた石段や木道、落葉、金属のマンホールや側溝のふたが大変滑りやすく、雨の観察会では危険なものになることが判りました。雨の為、危険な昆虫（スズメバチ）は殆ど見られず、ウルシの類は奇麗に除去されていて見つかりませんでした。やぶ蚊が多くこれもウィルスを媒介するため、危険な昆虫として扱う必要が有ります。



危険なものは上にも下にも

公園内のミツバウツギの葉っぱが青虫に食べられて、元の形のままで白く変色していました。葉っぱの裏に小さな青虫（毛はない）が沢山くっついて、葉っぱの緑色の部分だけ食べていました。公園の事務所で調べて貰ったら、ミツバウツギナメクジハバチの幼虫との事でした。初めてみる青虫で、確かに体がナメクジのように粘液に覆われていました。



ミツバウツギナメクジハバチの幼虫

応急処置の実習として、三角巾を使って膝の止血圧迫包帯と捻挫の応急処置で足首の固定について練習しました。また観察会やハイキングの安全装備として、ポイズンリムーバや洗浄用の水ボトル、非常用の呼び子やライト、靴修理用のガムテープ、足を擽った時に使う消炎スプレーや漢方薬を紹介し、ポイズンリムーバは実際に使って貰いました。医薬品やスプレーなどは、お客様に渡してお客様の意思で使って貰うことを説明しました。

午後は座学で「安全および教育」の6つの項目、山の安全、救命・応急手当、自然保護、森の民俗学、話法、企画の立て方 について解説しました。併せて過去の出題問題を使って演習としていろいろな出題形式に対応する回答の練習を行いました。同じ項目が繰り返し出題されます。テキストに記載してある文言で回答することが大事です。

参加者：7名、秋里さん、氏家さん、芝原さん、高田さん、福山さん、古谷さん、山口さん

講師：楨田 幹夫



安全実習：公園内で危険なものを探す



観察：表皮と葉脈を残して食べられた葉っぱ



安全実習：見つけた危険な物の纏め



実習：ハイキングに携行する安全装備



応急手当実習：八折三角巾を作る



応急手当実習：右手の指を中に入れると作り易い



応急手当実習：他人の足首を固定する



演習：過去問題に回答する